



第145号

平成30年3月 発行

《学校教育目標》

豊かな心と健康な身体をもち、自ら学びたくましく生きる子供を育てる

のむら

Nomura
Elementary
School



体育館改築記念事業

卒業に寄せて

校長 藤田 高豊



卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。みなさんは、最高学年として児童会活動や運動会等の学校行事の中心となって活動し、どれも立派にやり遂げてくれました。本当に、ありがとうございます。

卒業に際し、謙虚に生きるということについてお話します。日本には、「お互い様」と「お陰様」という言葉があります。「お互い様」は、お互いに助け合い、支え合っていることを表します。「お陰様」は、直接見たり触れたりできないけれど、生活を陰で支えてくれるもの全てに対して使う言葉です。この「お陰様」や「お互い様」は、謙虚さや反省の心を引き出してくれる上で、とても大切です。多くの人に支えられて生きること感謝し、このような言葉を忘れない生活をこれからも送ってください。それから、新しくなった体育館で記念すべき最初の卒業生となったことも心に刻んでおいてください。

終わりに保護者の皆様、お子様のご卒業を心からお祝い申し上げます。今後とも、ご家族の心のふれあいと絆が一層強まっていくよう願っています。

ふれあい

PTA会長 熊木 智昭



私は、143号の広報誌「のむら」で「触れ合いを大切にしていきたい」と述べました。一つ目は、「親子の触れ合い」、二つ目は、「地域との触れ合い」です。「親子の触れ合い」では、日常の日々の出来事、運動会や学習発表会等の学校行事で頑張ったこと、できなかったこと等をお父さんやお母さんに話すことができたでしょうか？保護者の方は子供に聞くことができたでしょうか？また、親子活動では一緒に汗をかいったり笑ったりできたでしょうか？「地域との触れ合い」では、親子ともども登下校や地域のお祭り、住民運動会等で町内の人と顔を合わせたときに挨拶や話ができましたか？「いっぱい触れ合うことができた」という人は、とても素晴らしいです。これからもいろいろな人と触れ合ってください。きっとみんながあなたのことをいっぱい応援してくれるはずですよ。「少し足らなかった」という人は、これからは声を出してたくさんの人と挨拶をしてください。きっと自分に自信がつくはずですよ。こう書いている私も「少し足らなかったな」と反省をしており、これからは、いっぱい周りの人に声をかけたいと思います。みなさんにお願いです。私が声をかけたときには、きちんと返してくださいね。でないと寂しくなりますから。

目次	ごあいさつ P1	祝新体育館完成～野村小学校の歴史を振り返って～... P4・5	スポーツ少年団・ウインドアンサンブルの活躍... P8・9
	ボクの夢、ワタシの夢... P2・3	1年間を振り返って 思い出すごろく P6・7	PTA活動報告 P10



野村小学校活動情報 webで随時更新中!

ようこそ野村小学校

検索

<http://nomura-e.el.tym.ed.jp>



PTA活動情報 webで随時更新中!

野村小学校 PTA

検索

<http://www.nomura-pta.sakura.ne.jp>

どちらも
ぜひご覧ください!